

表彰式 新機械振興協会

財団法人 機械振興協会



表彰者らで記念撮影

「第6回新機械振興賞」7件を表彰

機械振興協会(会長豊田章一郎氏)は、1月19日、東京プリンスホテルマグノリアホールで第6回新機械振興賞の表彰式を行った。08年度は、37件の応募の中から経済産業大臣賞1件、中小企業協会賞1件、機械振興協会賞1件、研究開発意欲の高揚を目的として優秀な研究開発を行い、その成果の実用化に成功した企業および研究開発担当者を表彰する制度を昭和41年以來実施、平成15年度に従来の制度を統合し新機械振興賞を創設した。今回は第6回目に当たる」とあいさつ。

吉川弘之産業技術総合研究所理事長が審査の経過報告を行い、表彰式に移った。受賞者は次の通り。  
【経済産業大臣賞】▽厚板オンライン熱処理設備(JFEスチール)

まず豊田会長が、「当協会は、機械工業における研究開発意欲の高揚を目的として優秀な研究開発を行い、その成果の実用化に成功した企業および研究開発担当者を表彰する制度を昭和41年以來実施、平成15年度に従来の制度を統合し新機械振興賞を創設した。今回は第6回目に当たる」とあいさつ。

- 【中小企業庁長官賞】
  - ▽ロケットベンダーによるパイプ曲げ加工技術(オプトン)
- 【機械振興協会会長賞】
  - ▽大型ガラス基板用浮上搬送技術の開発(IHI)
  - ▽高品位TEM試料作製装置の開発(エスアイア)
  - イ・ナノテクノロジー
  - ▽水平対向ディーゼルエンジンの開発(富士重工)
  - ▽磁気ヘッド・サスペンション調整技術の開発(富士通、富士通オートメーション)
  - ▽高意匠性乾式加飾技術の開発(リアライズ、高知県工業技術センター)